

No.	区分	氏名	学部・研究科	内容
1	個人	前場 理恵子	政治経済学部	第31回土光杯全日本青年弁論大会で「女性の社会進出」について自身の見解を唱え、優秀賞ニッポン放送杯を受賞した。国際学生寮WISHでレジデンスアシスタントを務めたほか、稲門祭への協力や早稲田学報でのインタビュー掲載など、校友会活動にも大きく貢献した。
2	個人	中村 克	スポーツ科学部	早稲田大学水泳部に所属し、国内外の数々の大会で活躍した。第91回日本選手権水泳競技大会の競泳男子100m自由形で優勝したほか、ジャパンオープン2015では競泳男子100m自由形で優勝し、日本記録を樹立した。
3	個人	大島 祐哉	スポーツ科学部	早稲田大学卓球部に所属し、国内外の数々の大会で活躍した。第11回全日本学生選抜卓球選手権大会の男子シングルスで優勝したほか、2015世界選手権蘇州大会の男子ダブルスでベスト8、2016世界選手権クアラルンプール大会の男子団体戦で39年ぶりの銀メダルに貢献するなど、世界大会で好成績を収めた。
4	個人	森 雄志	政治経済学部	WAVOC公認プロジェクト「RING」の中心メンバーとして、東日本大震災の被災地である岩手県釜石市箱崎町で、地域住民のニーズに沿った支援活動を継続的に行ってきた。ホームページやSNS、早稲田祭で復興の現状を発信することに加え、支援活動を書籍として出版することにより、団体として個人としての学びと成長を社会に発信した。
5	個人	高橋 直也	社会科学部	WAVOC公認プロジェクト「RING」の中心メンバーとして、東日本大震災の被災地である岩手県釜石市箱崎町で、地域住民のニーズに沿った支援活動を継続的に行ってきた。ホームページやSNS、早稲田祭で復興の現状を発信することに加え、支援活動を書籍として出版することにより、団体として個人としての学びと成長を社会に発信した。
6	団体	野球部	—	第64回全日本大学野球選手権大会優勝、8年ぶりの東京六大学野球リーグ戦春秋連覇を果たした。
7	団体	庭球部 女子部	—	全日本大学対抗テニス王座決定試合において10年連続優勝を果たした。
8	団体	ア式蹴球部 男子部	—	第89回関東大学リーグ戦で19年ぶりの優勝を果たした。
9	団体	フェンシング部 女子部	—	第68回全日本フェンシング選手権大会で女子エペ団体優勝、第55回全日本大学対抗選手権大会で女子エペ団体優勝、第65回全日本学生フェンシング王座決定戦女子エペ団体では19年ぶりの優勝を果たした。
10	団体	早稲田祭運営スタッフ	—	校友会最大の祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
11	団体	学生環境NPO環境ロドリゲス	—	校友会最大の祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
12	特別賞 個人	青山 文平	第一政治経済学部 1973年卒	2011年に『白樺の樹の下で』で第18回松本清張賞を受賞しデビュー。2015年に『鬼はもとより』で第17回大藪春彦賞、2016年に『つまをめとらば』で第154回直木三十五賞を受賞した。
13	特別賞 個人	ドリアン助川	第一文学部 1987年卒	小説『あん』が映画化、2015年5月に公開された。原作は、イギリス、フランス、ドイツ、台湾、韓国での刊行が決定した。カンヌ国際映画祭で高い評価を得た映画は世界45か国で上映されている。早稲田学報では『ドリアン助川の在野で行こうぜ!』のコーナーで誌上人生相談を行っており、校友会活動にも大きく貢献している。
14	特別賞 個人	五郎丸 歩	スポーツ科学部 2008年卒	ラグビーワールドカップ2015イングランド大会に日本代表メンバーとして出場。強豪の南アフリカから歴史的勝利を挙げるなど3勝1敗という好戦績を収め、日本国内のラグビー人気向上に大きく貢献した。
15	特別賞 個人	島山 健介	スポーツ科学部 2008年卒	ラグビーワールドカップ2015イングランド大会に日本代表メンバーとして出場。強豪の南アフリカから歴史的勝利を挙げるなど3勝1敗という好戦績を収め、日本国内のラグビー人気向上に大きく貢献した。